

はず夢ウォークと三ヶ根山どんどこまつり

三 河湾から三ヶ根山まで

1月21日、第44回ははず夢ウォークが行われ、名鉄東幡豆駅を発着点とし、三ヶ根観音を経由する約12.2kmのコースに195人が参加しました。三ヶ根観音ではどんどこまつりが開催され、名鉄西尾駅^{おおだて}や愛知こどもの国などの利用者が夢や願い事を書いた大風21枚が、炎の中に投げ込まれて供養されました。はず夢ウォーク用の風も用意され、参加者は「ずっと健康でいられますように」など、思い思いの願い事を書き、再びゴールに向けて出発していきました。



地産地消！ 恵方巻きを作ろう

地 元の食材で、季節の料理を楽しむ

節分の日の2月3日、「地産地消！ 恵方巻きを作ろう」が吉良町公民館で行われました。20人の参加者は、地元食材を使った2種類の恵方巻きとダイコンの甘酢漬け、かぼちゃのデザート作りに挑戦。終始会話の絶えない明るい雰囲気の中で、講師を務めた西尾市生活改善実行グループの皆さんの指導で、おいしい恵方巻きを次々と作り上げていました。できた料理を試食した参加者は、手作りの作品の味に満足そうな表情を浮かべていました。



みどり川^{よくぼり}四九朝市27周年行事

採 れたての農産物など盛りだくさん



毎月4と9の付く日に開かれる「四九朝市」の27周年行事が1月14日に行われました。新鮮な野菜や果物、魚、骨董品などバラエティに富んだ品ぞろえで、毎

回多くの方でにぎわっています。この日は西尾キャンペーンレディとのじゃんけん大会や豚汁の無料サービスなども行われ、笑顔で買い物を楽しんでいました。

消防団への入団を呼び掛け

あ なたならなれる！ 地域のヒーロー

「あいち消防団の日」の1月20日、西尾市消防団の正副団長と機能別消防団女性分団の団員など総勢18人が、大型商業施設ヴェルサウォーク西尾でチラシやPRグッズを配り、消防団への入団を呼び掛けました。



花育教室でフラワーアレンジメント

カ ーネーションに想いを込めて



1月12日に横須賀小学校で花育教室が行われ、4年生児童がカーネーションを使ったフラワーアレンジメントを体験しました。講師を務めた一色生活改善実行グループ会員の説明を受けながら、色とりどりの地元産のカーネーションをバランス良くオアシスに配置。作品が完成すると、「かわいい」と笑顔を見せていました。アレンジフラワーは、後日行われた「二分の一成入式」で、感謝の気持ちを込めて10年間育ててくれた保護者に手渡されました。



新成人とのまちづくりトーク

ま ちづくりへの思いを語る

西尾市の将来について市長と若者が語り合うまちづくりトークが1月14日に市役所で行われました。7日に行われた成人式で実行委員を務めた新成人8人が参加。市内のイベントや公共交通の在り方、インスタグラムを利用した市のPR方法など、意見や提案が数多く出されました。この取り組みは若者の意見を市政の参考にしようと、今年度新たに行われたもので、昨年の7月31日には西尾高校、8月1日に一色高校の生徒とも懇談会が行われました。



文化財消防訓練

も しもの時、大切な文化財を守る

1月23日に、金蓮寺で文化財防火デーに伴う消防訓練が行われました。裏山から出火し、強風で国宝の弥陀堂に延焼したという想定で行われた今回の訓練。災害支援協定を結んだ西三河生コンクリート協同組合が初参加し、ミキサ車で運搬した水も使用されました。訓練では火災報知器が作動すると、文化財を素早く搬出。放水銃での初期消火の後、駆けつけた消防署の隊員と消防団員が放水し、速やかな消火活動が展開されました。参加者は災害の恐ろしさと地域で文化財を守ることの大切さを再確認していました。



音楽で歌って笑って若返り

リズムに合わせて笑顔で健康に



1月19日に、三和ふれあいセンターで「音楽で歌って笑って若返り」という音楽療法講座の最終回が行われました。音楽に合わせて思いっきり声を出したり、頭の体操をしたりして認知症を予防しようというこの講座。リズムに合わせたしりとりでは、間違えてしまった方も、隣の人と笑いながら和気あいあいと楽しんでいました。また、オリジナルの歌を作り、音楽に合わせて上手に歌うことができると拍手が起こっていました。この講座は「ミュージックセラピー三和」というサークルに発展し、今後も活動していきます。

第53回一色マラソン

穏やかな潮風と声援を受けて快走



1月28日、一色町体育館周辺で第53回一色マラソンが行われ、ハーフマラソンや10キロメートルなどの全24部門に、過去最多となる4,294人がエントリーしました。最高齢は87歳の男性。風も穏やかな絶好のマラソン日和の中、子どもから大人まで幅広い世代のランナーが、沿道からの声援やボランティアスタッフの協力に支えられて、海岸沿いのコースを駆け抜けました。参加したランナーは、目標タイムに向かって必死に走ったり、ユニークな仮装で走ったりと、思い思いにゴールを目指していました。